

科学研究費助成事業（国際情報発信強化） 中間評価

課題番号	252025	事業期間	平成 25 年度～平成 29 年度
取組の名称		団体名称	代表者名 (職名・氏名)
日本地球化学会発行国際科学誌による 国際情報発信強化の取組		日本地球化学会	会長 川幡 穂高
学術刊行物の名称			(略称)
Geochemical Journal			GJ

【平成 27 年度 中間評価結果】

評価	評価基準
A+	当初計画を上回っており、かつ改善した評価指標による目標達成が見込まれる。
A	当初計画が達成されつつあり、今後の目標達成が見込まれる。
○ A-	当初計画より一部遅れは見られるが、概ね今後の目標達成が見込まれる。
B	今後の目標達成の見込みはあるが、経費の使用に問題があるため、経費の減額が適当である。
C	今後の目標達成が見込まれないため、取組の中止が適当である。
(評価意見)	
<p>論文投稿数、オープンアクセス論文数及びインパクトファクター (IF) は 3 年目の数値目標を達成し、編集体制を強化 (副編集長を 1 名から 5 名に増やし、そのうち英語母語話者は 2 名) し、国際編集会議を 2014 年以降、Goldschmidt Conference を利用して定期的に開催するなど、順調に進めている点は評価できる。また、年間ダウンロード数は、実施前の 74 万件から 126 万件に急増している。</p> <p>一方、外国人査読者が占める割合が目標に達していないこと、IF が減少傾向にあり最終目標の 2 に近づいていると言い切れるか疑問が残ること、Goldschmidt Conference における広報活動において配布された冊子や DVD の数量の報告がなく達成度が曖昧に見えること、今後の目標に関してやや具体性に欠けることなど、一部遅れや懸念材料がみられるため、今後の改善が望まれる。</p>	